

令和 6 年 9 月 26 日

報道機関 各位

企画展示及び講演会開催のご案内【10/1～11/3】

「松江市における衛生思想の歴史と今」

◆本件のポイント！

・松江市の衛生環境・衛生思想と水道の歴史を学ぶとともに、水道整備に多大な貢献をした先人達を紹介します。期間中、展示解説(ギャラリートーク)や講演会も開催します。

◆本件の概要

松江市の水道事業は明治 39 年に松江市議会で議決され、工事を経て、大正 7 年に上水道が通水を開始しました。発端は幕末からたびたび流行したコレラなどの伝染病であり、その原因となった不衛生な井戸水などへの対応でした。解決に向けて動き出したのは、愛知県公立医学校で後藤新平(後の衛生局長)と共にオーストリア人医師ローレツから衛生学を学んだ後、松江市へ赴任した医師田野俊貞であり、松江市の水源地として左水(さみず)を提案した衛生工学士バルトンらでした。

今回の企画展示及び講演会では、予防医学の気運が醸成されつつある中で衛生の考えを取り入れ、衛生思想として松江市民へ広めた先人の努力と上下水道の歴史と今を紹介します。

◆本件に関する写真



A.ローレツ



田野 俊貞



後藤 新平



W.K.バルトン

出典:写真左『ホルン紀行』(1971)、写真右 3 枚 (城見エステート所蔵)

◆概要内容

期 間: 2024(令和 6)年 10 月 1 日(火)～11 月 3 日(日) 休館日…10/12～14

時 間: 平日 8:30-21:30 土日祝日 10:00-17:30

会 場: 島根大学附属図書館本館 1 階展示室《地域コミュニティラボ》
〒690-8504 松江市西川津町 1060

主 催: 松江バルトン会 共 催: 島根大学附属図書館

後 援: 日本水循環文化研究協会、臺北自來水事業處、松江市上下水道局・文化財課、
松江市医師会、島根県建築士会、松江東ロータリークラブ、松江市文化財課、城西公民館、
福島造船鉄工所、今岡ギャラリー、城見エステート

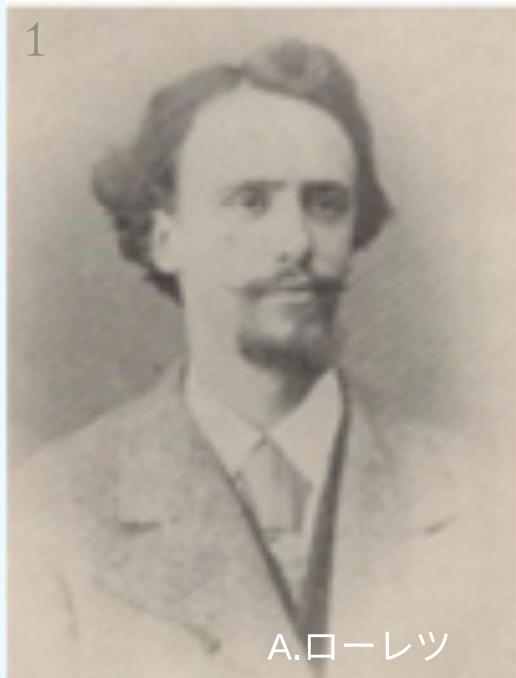
展示解説や講演会の日程は、
チラシ 2 枚目をご覧ください。

◆本件の連絡先 ※[at]は@に置き換えてください

島根大学附属図書館 電話:0852-32-6087 Mail:sabisu[at]lib.shimane-u.ac.jp

【添付資料: ■あり(2 枚) □なし】

衛生思想
の歴史と今



期間 2024年10月1日(火)~11月3日(日) ※休館10/12-14
会場 島根大学附属図書館展示室(1階)・多目的室(3階)

衛生から始まる近代国家へのスタート

伝染病・上下水道整備・健康増進・人々の幸福

幕末から、松江ではコレラなど伝染病が流行しました。ドイツ医学を学んだ田野俊貞らは、衛生思想の普及に目覚め、上水道敷設を建議するなど、尽力しました。バルトンによる忌部サミズ水源の提案（1895年調査・1899年復命書）の20年後、諸課題を乗り越え、1918年になって松江市の上水道が通水を開始しました。感染症の時代の今日、4人の業績を知って、松江市の衛生環境・衛生思想と水道の歴史を学び、環境の世紀のための創造への糧とする目的で展示会を開催します。

主催 松江バルトン会 共催 島根大学附属図書館
後援 日本水循環文化研究協会、臺北自來水事業處、松江市上下水道局・文化財課、
松江市医師会、島根県建築士会、松江東ロータリークラブ、城西公民館、
福島造船鉄工所、今岡ギャラリー、城見エステート
お問い合わせ MatsueBurton1895@gmail.com

好生の徳は民心に治し
後藤新平筆

好生の徳は民心に治し

衛生思想の原点：「好生の徳は民心に治し」後藤新平筆（1880頃）（榊城見エステート所蔵）
（人の生命を大切にす徳を万人にゆきわたらせる）

衛生思想の普及・実現に貢献した4人の先人たち

1



A.ローレツ（1846-1884）衛生思想の祖・ドイツ医学を教授

オーストリア出身、お雇い外国人として来日。1876年より、愛知県公立医学校（名古屋大学医学部）の教官として、田野俊貞、後藤新平らにドイツ医学・衛生学を教授した。その後、石川県金沢医学校（金沢大学医学部）、山形県済生館医学寮などを経て、1882年帰国した。2年後の1884年、38歳の若さで没した。

2



田野俊貞（1855-1910）衛生思想の先駆者・医師

栃木県出身。大学東校（東京大学医学部）に入学しドイツ医学を学ぶ。1878年、愛知県公立医学校教官となり、後藤新平と出会う。ローレツから臨床医学・衛生学・法医学を学び、講義を口訳した『皮膚病論一斑』（1880）、『断訟医学』（1886）を刊行し、先駆的な業績を残す。1884年より島根県で勤務し、医学校教諭、松江病院長等を歴任する。大日本私立衛生会に結集し、衛生思想の普及に貢献した。

3



後藤新平（1857-1929）衛生国家の推進者・官僚・政治家

岩手県出身。1876年以降、愛知県公立病院医師・医学校教官となる。ローレツから外科・臨床医学を学ぶ。衛生警察（法医学）に関心をもつ。内務省衛生局長、台湾総督府民政長官、東京市長として衛生行政に敏腕をふるった。田野とは愛知時代から終生の友として親交した。来松の際には必ず田野を訪ねている。

4



W.K.バルトン（1856-1899）松江水道の恩人・衛生工学技師

英国出身。帝国大学工科大学衛生工学教授、内務省衛生工学技師。全国29都市の水道設計に関わる。1895年、国内最後の調査地・松江を訪れ、水源は忌部サミズが最適と報告する。翌96年、後藤新平の要請で台湾に渡り、台北、基隆の水道設計に従事した。初の高層建築・浅草十二階の設計者。写真家で濃尾地震写真集等がある。

ギャラリートーク

10月 1日(火) 10:30~11:00 梶谷光弘

10月 20日(日) 10:30~11:00 岡崎秀紀

講演・講話（衛生思想・松江水道・臺北水道・近代化遺産）

10月 1日(火) 14:00~15:30 梶谷光弘・杉谷雄二

10月 18日(金) 15:00~15:50 稲場紀久雄・稲場日出子

10月 20日(日) 14:00~15:30 岡崎秀紀・足立正智

松江バルトン会

バルトンの顕彰と研究を目的に2016年結成（会員8名）

2022年より資料集3冊刊行、2023年臺北水道施設を視察

会場アクセス
松江市営バス、
一畑バス利用
島根大学前下車
徒歩5分。